

# 10/11三里塚総決起を突破口に 激化する臨調行革 国鉄攻撃に 総反撃して(1)に

## 11月情勢は「理塚」白鉄を以て決戦に突入はす

三里塚現地において政府空老公団は「82年用地内  
遷移決-83年二期着工」のスケジュールが崩れたのは大破綻  
の危機に直面し、焦る。そして最後の力として政府公団は吉田  
憲(加地当理事)の人脈を利用「水」で農民をたぶらかし、石井英祐(前  
京房理事)をたぶらして公然と条件派(オコ問題)ブレイクを反

対同盟破壊攻撃にうつてきた。この重要の時機を狙ってオコ革命の「労働革命カ」  
「反同盟事務局長北原は警察のスパイ」なるデマをデブチあげ  
て向ヶ丘 反同盟と闘う千葉をたぶらめとする三里塚を斗  
う陣営を傷つけ解体しようとする策動している。

一方、国鉄においては、鈴木内閣は「国鉄危機非常事態宣言  
を出し、「公務員」の人事改組の「緊急」を決定。24日 国鉄銀行  
専大綱を決定したのに対して国鉄当局は「緊急対策実施推進本部」  
(柳原 高松雄)を設置、職場規律の確保、などをもた「緊急11項目、

の強行実施を開始しました。さらに57.11ダイヤ改訂、検修合理化・現協制度改善な  
どの国鉄労の運動解体の攻撃を強められはす

## 「たば」三里塚と「国鉄」はなか

今日、1930年代を上回る世界的な大不況と米谷はれした大  
国間の経済対立、矛盾が噴出し、11月30日戦争の火が燃えあがり  
ている中、政府、自民党は自身の運命をかけて軍事大強化、改組に  
むかおうとしかたわね、反動攻撃にでているのである。  
会社再編と抑圧合理化に協力した結果、大株主の利益  
を侵す。人権労働完全凍結を眼、労働者の生活

破壊の中でのF-16の三環軌道整備を眼、教科書書き  
を眼、情勢は今ほど鮮明な時はありません。  
だからこそ敵が「7月30日」にわたリ権力と非妥協の不屈に  
いかに三里塚、反撃の皆三里塚と、最大の戦い性を  
持ち、国鉄労働運動を何の何れでもつぶそうといます。  
それを許さず、オコが断つて吞まわります。



「危機を眼する防衛産業」

われわれの「ア」凍結、だからと軍事産業は「大繁盛

当面の行動

- 10.11 三里塚
- 10.24 反核大反50万行動
- 10.27 支部大会
- 11.3 団結祭典

**各支部奮闘**  
10.11総決起にむけて各支部は、今、最後の追いこみに入っている。支部役員を先頭に、「一人  
ひとりが活動家に」の決意をもやして、支部全体で奮闘している職場の闘いを紹介する。全支部競  
い合って10.11三里塚に総決起しよう。(編集局) (カットは、千葉転支部の掲示看板より)